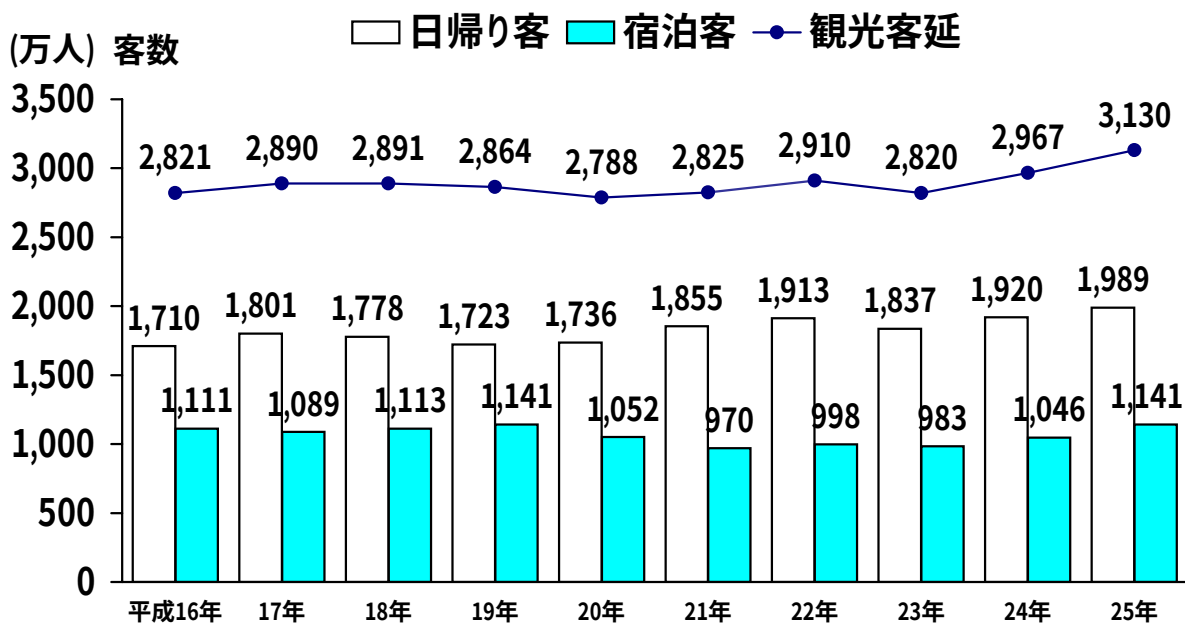


観光の概況

年次別観光客推移



(注)一部市町で平成25年から算定方法が変更されたため、平成24年の数値は、同じ方法により再算定を行っている。

平成25年の長崎県の観光客延べ数は、ハウステンボスの集客が大幅に増加したことや、平成24年に長崎市の夜景が世界新三大夜景に認定されて以降、夜景観光が好調であったこと、長崎しおかぜ総文祭や国体のリハーサル大会が開催されたこと、更に外国人観光客が大幅に増加したことなどから、3,130万人（対前年比＋5.5%）となり、平成14年以降で最多となった。

日帰り客数は1,989万人（対前年比＋3.6%）、宿泊客延べ滞在数は1,141万人（対前年比＋9.1%）であり、宿泊客数の増加が観光客延べ数の増加に大きく寄与している。

観光消費額については、観光客の増加や単価の伸びにより、3,316億円（対前年＋13.1%）となり大幅に増加した。

日帰り客、宿泊客別に観光消費額をみると、日帰り客は1,526億円（対前年＋9.4%）、宿泊客は1,790億円（対前年＋16.4%）であり、宿泊客の観光消費額に大幅な増加がみられた。

（県観光振興課）